

ント。約470名の区民が一堂に会し、辻川山の新緑の中、『笑顔あふれる大会』を

キャッチフ

レーズに、

三十六年目

の運動会を

楽しんだ。

優勝の10勝保

(60点)は平

均年齢と勢いが違った。体育委員はじめご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

10勝保の勇姿

第3位 17勝保(53点)

準優勝 7勝保(61点)

ピンボールゲーム



玉入れ

◆5月22日(土)
地域自主防災研修会

住民生活課の松岡課長他の出前講座「区民を守る防災体制の充実」を受け、辻川区としての防災計画(防災コミニティマップ・自主防災組織・規約作成等)について参加者42名が意見交換。1勝保の小谷さんから

小説家・俳人である横光利一(よしひら としや)の父、顕利(通称、本名は梅次郎)は土木工事の請負(鉄道敷

「災害発生時には隣保単位のつながりが重要」…大切な視点が確認された。まずは住民参加のまち歩き調査から。



5月の24時間雨量更新

福崎町(アメダス)では22日午後10時~24日午後4時までの雨量が243mmに達した。特に24日早朝には1時間雨量41.5mmを記録し、床下浸水が25棟に上った(5/25神戸新聞等)。ちなみに、福崎町防災マップの氾濫想定は、市川では1日総雨量を210mm、雲津川では1時間総雨量を74.2mmとしている。

◆5月23日(日) 溝普請
予定されていた23日が雨天で1週間延期。大雨で洗い流された後の溝は比較的作業がしやすかった: 最近の水害は小河川や側溝の氾濫から。泥上げ作業がその水位を下げる効果があることに期待し、気合が入った。

田原校区子供会球技大会(6/20)

△ソフトボール(男子)

1回戦	○ 3 - 3	対吉田
2回戦	● 1 - 3	対大門
吉田とは引き分けるも じゃんけんでの回戦へ		
△バレー(女子)		
1回戦	○ 2 - 0	対大門
2回戦	● 0 - 2	対井口・北野

一步及ばず残念。男女とも
よく頑張りました。感謝



**〔3〕横光利一の父
顕利と辻川**

〈その1〉

鈴の森神社本殿西の高台にある恵比須(恵美須)神社の西側に「注¹伏見町増田組辻川出張所」と「増田組出張所主任 横光顕利」の玉垣がある。

利一は多感な少年期の大半は三重県伊賀で過ごし、1904年、父が朝鮮に渡ったのを機に母と一緒に姉しづことともに母の実家のある三重県東柘植村(現伊賀

利一は多感な少年期の大半は三重県伊賀で過ごし、1904年、父が朝鮮に渡ったのを機に母と一緒に姉しづことともに母の実家のある三重県東柘植村(現伊賀

市柘植)に移り、柘植で小学校時代の大半を過ごした。
1898(明治31)年3月17日福島県北会津郡東山村(今の中山温泉)で、父梅次郎、母にさくの長男として生まれる。菊池寛に師事し、1923年『田舎』で地位を確立。翌年川端康成らと『文芸時代』を創刊し、新感覚派の中心として活躍した。
晩年は東洋的精神主義に傾斜し、「近代の超克」を構想した。代表作に『機械』『紋章』『旅愁』などがある。1947(昭和22)年11月30日没。ノーベル賞作家の川端を以て、弔辞に「君の名に傍(そ)えて」と。・・・その年月、君は常に僕の名の呼ばれる翻わしも、かえりみればすでに二十五年を越えた。・・・その年月、僕は常に僕の無二の友人であったばかりでなく、菊池さんと共に僕の二人の恩人であった。恩人としての顔を君は見せたためには無かったが、喜びにつけ悲しみにつけ、君の徳が僕を露つ(うお)すのをひそかに僕は感じた。・・・」と言わしめた。



横光 利一

注¹京都市伏見区には今も創業明治15年の増田組がある。横光利一のことを問い合わせたが梨の礫(いり)で、残念だった。

1904年、早稲田大学高等予科文科に入学する。

◆編集後記

辻川防災マップづくり: 昨年8月の県西・北部集中豪雨災害をはじめとする最近の「ゲリラ豪雨」に西日本の猛烈化を懸念する声も。まずは地域の現状を知ることからですね。「田崎」